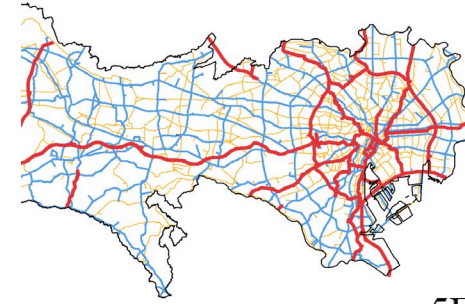


現実の都市・建築スケールでは実際に実験・検証が困難な事象に対して
シミュレーション技術を駆使して解明を試みる！

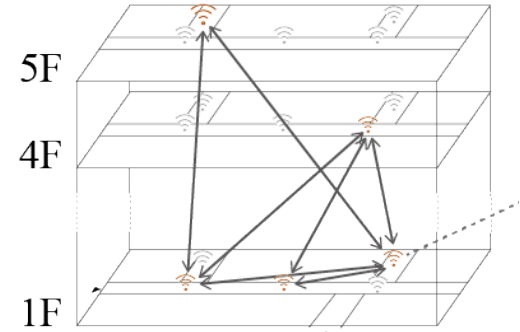
経歴：

- 2018～2020 東京工業大学 環境・社会理工学院 建築学系 博士課程 修了
- 2020～2024 東京工業大学 環境・社会理工学院 建築学系 助教
- 2024～ 現在 東京科学大学 環境・社会理工学院 建築学系 助教

特定緊急輸送道路の通行機能評価指標の提案と耐震改修促進計画への応用

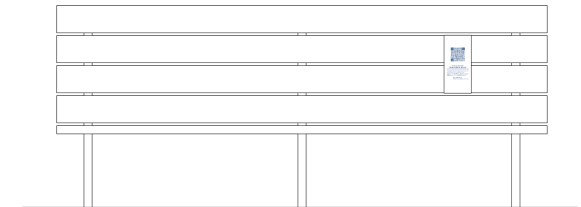


赤外線人感センサを用いた建物内滞留者数分布の推定

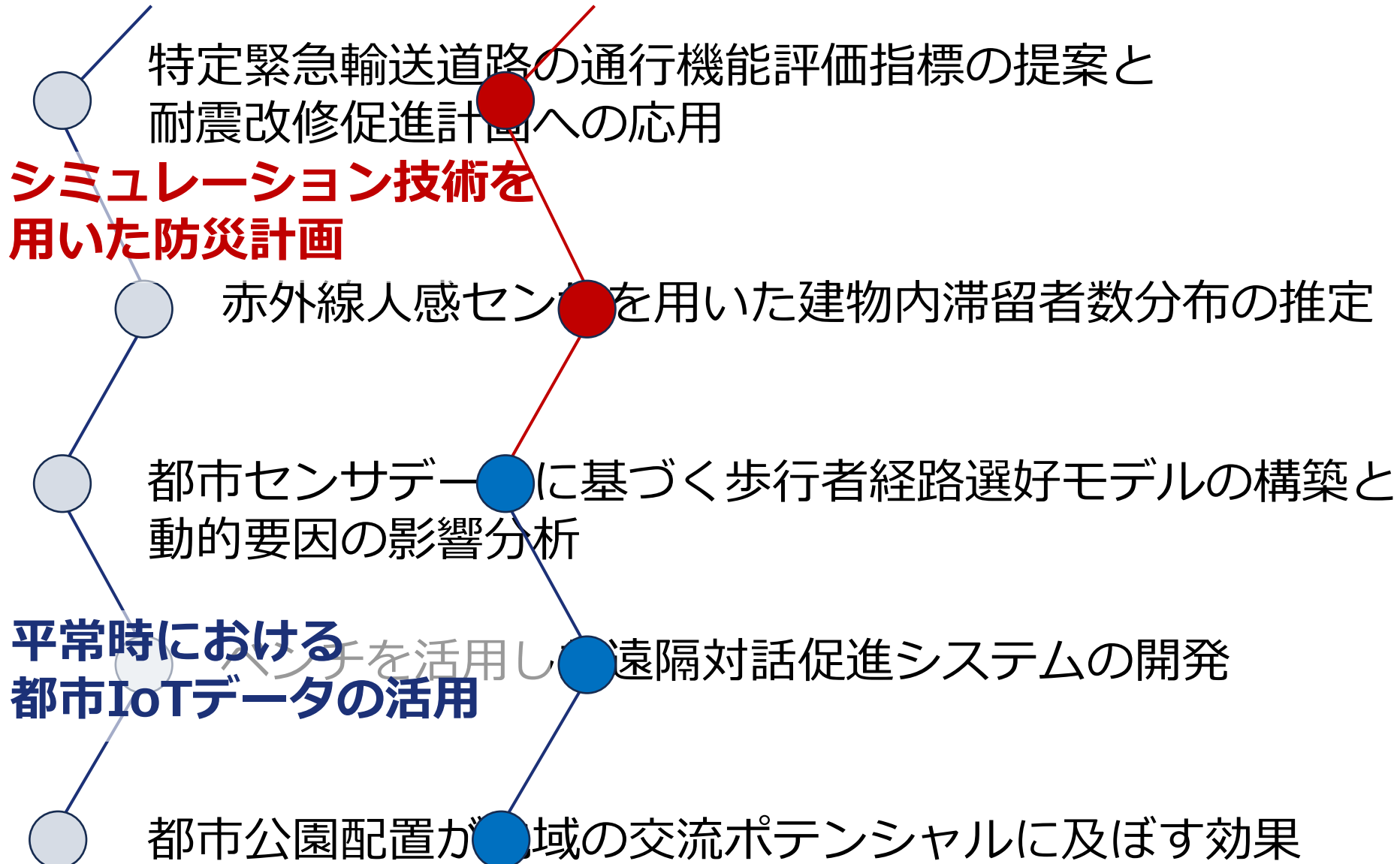


都市センサデータに基づく歩行者経路選好モデルの構築と動的要因の影響分析

ベンチを活用した遠隔対話促進システムの開発



都市公園配置が地域の交流ポテンシャルに及ぼす効果



岸本 まき (環境・社会理工学院 建築学系/助教)

Q1 : 50年後の社会はどうあって欲しいか (どのような障害に直面するか?)

- 都市IoTデータの活用 (vs. 都市における環境問題, etc.)
- デジタル技術を活用した都市内の交流促進 (vs. フィルターバブル, エコーチェンバー)

Q2 : それを支え/解決する都市・インフラは?

- ストリートファニチャー
- 歩行者空間や都市公園の拡充

Q3 : 課題解決のために自分は何をするか?

都市センサデータに基づく
歩行者経路選好モデルの構築と動的要因の影響分析

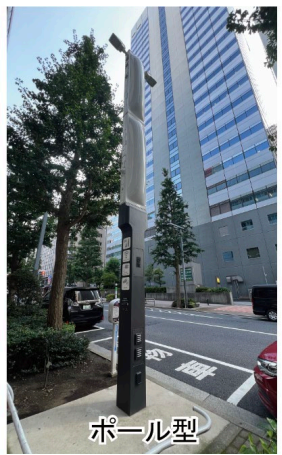
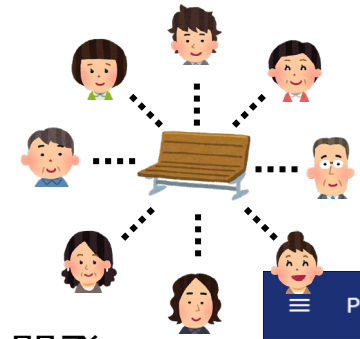


表. スマート街灯データの内訳

微気象	気温, 温度, 照度, 雨量, 気圧, 風速, 風向
人流	通行人数 (進行方向別), 滞在時間, 属性 (性別・年齢)
Wi-Fi	利用者数, セッション数, 利用詳細



ベンチを活用した
遠隔対話促進システムの開発

